

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 29 年 7 月 19 日

理事長 松山 良一

訪日外客数(2017 年 6 月推計値)

◇ 6 月 : 前年同月比 18.2%増の 234 万 7 千人

◇ 上半期(1 月~6 月) : 前年同期比 17.4%増の 1,375 万 7 千人

- 2017 年 6 月の訪日外客数は、前年同月比 18.2%増の 234 万 7 千人。2016 年 6 月の 198 万 6 千人を 36 万人以上上回り、6 月として過去最高となった。また、上半期の累計では、前年同期比 17.4%増の 1,375 万 7 千人となり、主要 20 市場全てで過去最高となった。
- 市場別では、台湾が単月として過去最高を記録。16 市場（韓国、中国、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、豪州、米国、カナダ、ドイツ、イタリア、ロシア、スペイン）が 6 月として過去最高となった。
- 航空座席数の増加等を背景に前年同月比 60%を超える伸びを示した韓国市場が、引き続き訪日外客数全体を牽引。断食明け大祭休暇や学校休暇など、旅行需要の高まる時期に向けて実施した訪日旅行プロモーションの他、訪日クルーズ、チャーター便の就航により需要が上乘せされた市場もあり、訪日外客数全体としては堅調に推移した。
- 昨今の世界情勢や旅行先の多様化などを背景に、訪日旅行市場を取り巻く環境は日々変化している。今後も市場動向を綿密に分析しながら、訪日旅行プロモーションを進めていく。

* 月別推計値と 2003 年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客数の動向」内からダウンロードできます。

http://www.jnto.go.jp/jpn/statistics/visitor_trends/index.html

「月別推計値 (Excel)」、「国籍/月別 訪日外客数 (2003 年~2017 年) (PDF・Excel)」

* 最新の市場動向トピックス

http://www.jnto.go.jp/jpn/inbound_market/report.html

※ 6 月のトピックスは 7 月末頃に掲載予定

お問い合わせ先：
インバウンド戦略部 調査・コンサルティンググループ
TEL : 03-6691-3891

平成29年 訪日外客数・出国日本人数

2017 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)
Japan National Tourism Organization (JNTO)

平成29年7月19日
19/Jul/2017

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成28年 2016	平成29年 2017	伸率 Change %	平成28年 2016	平成29年 2017	伸率 Change %
1 Jan.	1,851,895 (1,579,364)	2,295,668 (2,006,775)	24.0 (27.1)	1,276,297	1,295,059	1.5
2 Feb.	1,891,375 (1,670,948)	2,035,771 (1,791,122)	7.6 (7.2)	1,330,972	1,493,399	12.2
3 Mar.	2,009,550 (1,726,361)	2,205,664 (1,898,944)	9.8 (10.0)	1,550,637	1,745,412	12.6
4 Apr.	2,081,697 (1,825,694)	2,578,970 (2,300,476)	23.9 (26.0)	1,249,586	1,234,921	-1.2
5 May	1,893,574 (1,640,187)	*2,294,700	*21.2	1,233,170	1,317,737	6.9
6 Jun.	1,985,722 (1,773,111)	*2,346,500	*18.2	1,271,146	*1,320,000	*3.8
7 Jul.	2,296,451 (2,069,994)			1,435,758		
8 Aug.	2,049,234 (1,802,381)			1,818,332		
9 Sep.	1,918,246 (1,631,531)			1,552,705		
10 Oct.	2,135,904 (1,848,153)			1,462,741		
11 Nov.	1,875,404 (1,617,057)			1,479,599		
12 Dec.	2,050,648 (1,864,895)			1,455,477		
1~6 Jan.-Jun.	11,713,813 (10,215,665)	*13,757,300	*17.4	7,911,808	*8,406,500	*6.3
1~12 Jan.-Dec.	24,039,700 (21,049,676)			17,116,420		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、2017年の*印の斜体部分は推計値、そのほかの値は暫定値、2016年の値は確定値である。

◆注3: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: 訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆注5: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are definitive (2016) and provisional (2017), while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.
[source: Ministry of Justice]

◆Note 3. Provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2017年6月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for Jun. 2017 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2016年 6月	2017年 6月	伸率(%)	2016年 1月～6月	2017年 1月～6月	伸率(%)
総数	Grand Total	1,985,722	2,346,500	18.2	11,713,813	13,757,300	17.4
韓国	South Korea	347,365	568,900	63.8	2,382,904	3,395,900	42.5
中国	China	582,452	587,200	0.8	3,076,484	3,281,700	6.7
台湾	Taiwan	397,840	433,600	9.0	2,155,814	2,288,000	6.1
香港	Hong Kong	163,103	201,800	23.7	868,196	1,083,400	24.8
タイ	Thailand	47,898	51,800	8.1	485,931	530,900	9.3
シンガポール	Singapore	32,574	36,300	11.4	160,804	177,800	10.6
マレーシア	Malaysia	20,879	30,000	43.7	183,458	214,100	16.7
インドネシア	Indonesia	22,896	38,300	67.3	127,647	184,900	44.9
フィリピン	Philippines	27,621	31,500	14.0	181,323	224,600	23.9
ベトナム	Vietnam	16,736	21,900	30.9	122,849	157,100	27.9
インド	India	11,955	10,600	-11.3	63,696	69,500	9.1
豪州	Australia	30,192	32,500	7.6	233,357	262,500	12.5
米国	U.S.A.	125,353	138,000	10.1	611,218	696,500	14.0
カナダ	Canada	18,915	20,200	6.8	127,881	152,900	19.6
英国	United Kingdom	20,315	19,500	-4.0	145,281	153,800	5.9
フランス	France	16,659	16,100	-3.4	122,588	130,300	6.3
ドイツ	Germany	12,025	12,800	6.4	88,770	98,100	10.5
イタリア	Italy	8,100	8,300	2.5	50,716	56,200	10.8
ロシア	Russia	3,545	5,600	58.0	25,467	35,800	40.6
スペイン	Spain	6,061	6,500	7.2	33,425	38,900	16.4
その他	Others	73,238	75,100	2.5	466,004	524,400	12.5

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2016年の数値は確定値、2017年の数値は推計値である。

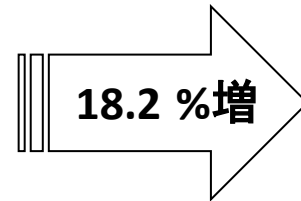
◆注3：訪日外客とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客数には乗員上陸数は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

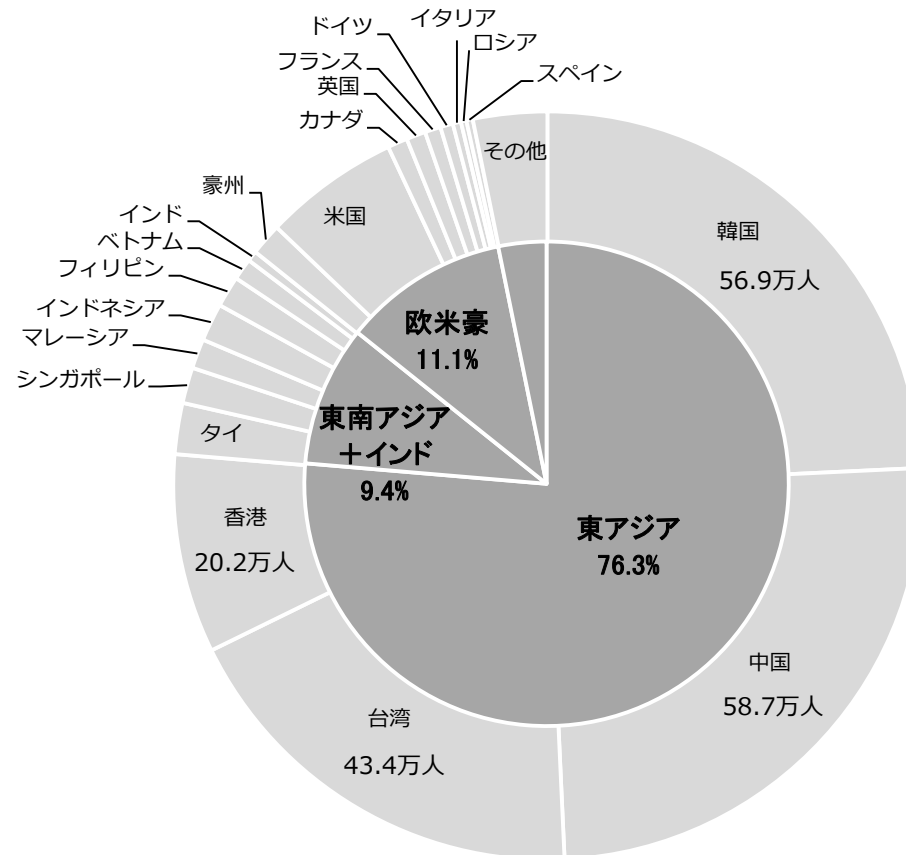
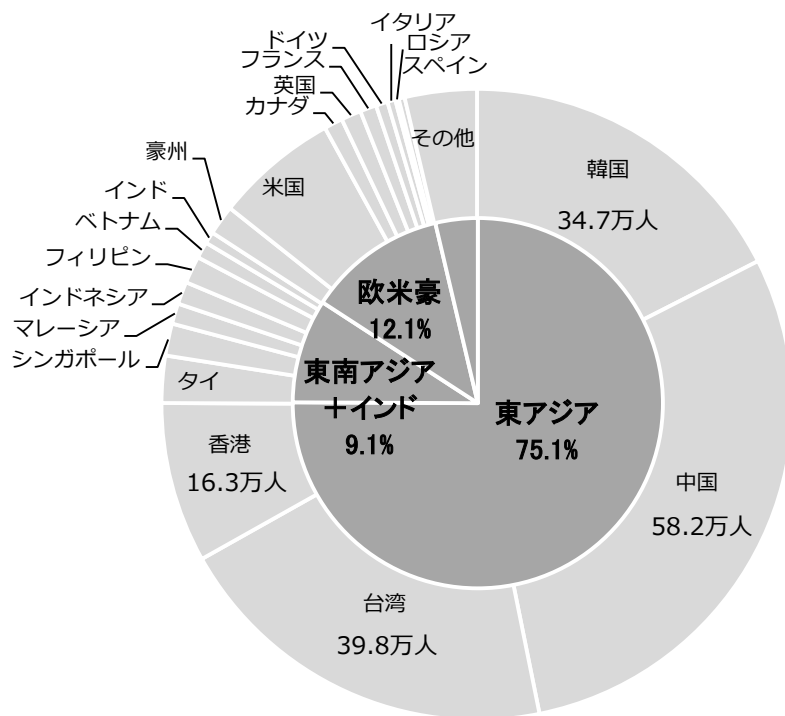
◆Note 2. Above figures are definitive (2016) and preliminary (2017) ones, compiled and estimated by JNTO.

訪日外客数のシェアの比較 2016年/2017年

2016年6月
198万6千人



2017年6月
234万7千人



地域別訪日旅行市場の概況

1. アジア

① 東アジア

- **韓国**は、前年同月比 63.8%増の 568,900 人で、6 月として過去最高を記録。昨年 4 月に発生した熊本地震による影響の反動もあり、今月は大幅な伸びに繋がった。また、格安航空会社（以下、LCC）を中心に増便がなされ、座席供給量が拡大したことも訪日者数の押し上げに貢献した。
- **中国**は、前年同月比 0.8%増の 587,200 人で、6 月として過去最高を記録。前年は 6 月にあった端午節が今年は 5 月にずれたものの、査証発給要件の緩和や継続的な訪日旅行プロモーションの効果もあり、プラスの伸びを維持した。
- **台湾**は、前年同月比 9.0%増の 433,600 人で、単月として過去最高を記録。旅行需要が増加する夏季に合わせ、クルーズ船寄港数が増加したことや定期便の増便、地方へのチャーター便が運航されたことが、訪日需要を取り込み、堅調に推移した。
- **香港**は、前年同月比 23.7%増の 201,800 人で、6 月として過去最高を記録。LCC を中心に各社が販売した低廉な訪日旅行商品や、航空座席供給量の増加が訪日意欲を喚起し、好調に推移した。昨今の世界情勢を受けて日本に対する安心感が相対的に高まっていることも、訪日旅行検討を後押ししていると考えられる。

② 東南アジア

- **タイ**は、前年同月比 8.1%増の 51,800 人で、6 月として過去最高を記録。レジャー需要が閑散期となる一方、インセンティブ旅行の催行が好調であったことや、訪日旅行商品の価格が下がり、特に個人旅行（FIT）において販売が好調だったことも、訪日者数の押し上げに寄与した。
- **シンガポール**は、前年同月比 11.4%増の 36,300 人で、6 月として過去最高を記録。アウトバウンド全体の停滞や経済成長の鈍化が継続する中、学校休暇に向けてオンライン媒体を中心に展開してきた訪日旅行プロモーションの効果が訪日需要を下支えした。
- **マレーシア**は、前年同月比 43.7%増の 30,000 人で、6 月として過去最高を記録。前年は 7 月にあったハリラヤプアサ（断食明け大祭）休暇が 6 月に移動したことにより、6 月の海外旅行需要が高まり好調に推移した。この時期に向けて強化してきた訪日旅行プロモーションも訪日意欲の喚起に貢献した。
- **インドネシア**は、前年同月比 67.3%増の 38,300 人で、6 月として過去最高を記録。前年は 7 月上旬であったレバラン（断食明け大祭）休暇が学校休暇と重なった他、新たに制定された祝日もあり、旅行を検討しやすい環境にあった。そのような中、昨年から続く航空券安や各

種媒体における日本の露出増加が追い風となり、60%を超える好調な伸びを示した。

- フィリピンは、前年同月比 14.0%増の 31,500 人で、6 月として過去最高を記録。例年、新学期が始まるこの時期は海外旅行のオフシーズンとなるが、今年は祝日に伴う 3 連休が 2 回あった他、航空路線の増便による座席供給量の増加、フィリピン経済の成長など旅行意欲を後押しする環境が揃い、好調に推移した。
- ベトナムは、前年同月比 30.9%増の 21,900 人で、6 月として過去最高を記録。学校休暇に伴う家族旅行需要の増加や、複数の報奨旅行の催行、フック首相の日本公式訪問団の来日、ハノイ-関西線の機材大型化に伴う座席供給量の拡大など、増加要因が重なり好調に推移した。
- インドは、前年同月比 11.3%減の 10,600 人。2013 年 10 月以来のマイナスの伸びとなった。昨年 6 月は、社会奉仕団体ライオンズクラブの国際大会が福岡で開催され、大会に合わせてインドから多数の参加者が訪日する特殊要因があったことが、今年は訪日者数が前年割れする一因となった。

2. 豪州、北米

- 豪州は、前年同月比 7.6%増の 32,500 人で、6 月として過去最高を記録。新聞広告や SNS、ウェブサイトなど様々な媒体を活用して日本の露出を強化した他、航空会社との共同キャンペーンを絡め、集中的かつ継続的に訪日旅行プロモーションを実施したことが、恒常的な訪日需要の底上げに繋がっていると考えられる。
- 米国は、前年同月比 10.1%増の 138,000 人で、6 月として過去最高を記録。これまで各事業で日本の露出を強化してきた成果もあり、現地メディアで日本が取り上げられる機会も増加している。旅行先としての認知度向上による訪日意欲の高まりが、訪日者数の増加に寄与したと考えられる。
- カナダは、前年同月比 6.8%増の 20,200 人で、6 月として過去最高を記録。エアカナダの夏季増便で、路線が拡充したことによる、航空券価格の値下がりや、共同広告をはじめ、継続的に露出強化を図ったことも訪日需要を下支えした。

3. 欧州

- 英国は、前年同月比 4.0%減の 19,500 人となった。日本から英国への旅行需要増加を背景に、日英路線について、英国発の割り当てが減少し日本行きの座席確保が難しくなっていることなどから、訪日需要を十分に取込みせず、訪日者数は前年を下回った。
- フランスは、前年同月比 3.4%減の 16,100 人となった。5 月に実施された仏大統領選挙決選投票や、6 月の仏国民議会選挙などにより、国民の関心が国内に向いていたことなどが影響し、訪日者数は前年を下回った。
- ドイツは、前年同月比 6.4%増の 12,800 人で、6 月として過去最高を記録。旅行会社・航空会

社との共同広告やメディア招請など、現地での日本の露出強化による訪日機運の醸成が、安定した訪日需要の創出に寄与した。また、安定的に成長を続けるドイツ経済の好況が旅行意欲を高め、長距離旅行の検討を後押しする中、旅行先として日本が選択される機会も相対的に増加しているものと考えられる。

- **イタリア**は、前年同月比 2.5%増の 8,300 人で、6 月として過去最高を記録。旅行博への出展やセミナー開催など継続的に展開してきた訪日旅行プロモーションの効果が、訪日機運の醸成と安定した訪日需要の創出に貢献している。
- **ロシア**は、前年同月比 58.0%増の 5,600 人で、6 月として過去最高を記録。例年、6 月は閑散期であるにも関わらず、1 月からの査証発給要件緩和の効果や、ウラジオストク発の航空路線の新規就航や増便が訪日意欲を喚起し、3 月以降、引き続き高い伸びを示している。
- **スペイン**は、前年同月比 7.2%増の 6,500 人で、6 月として過去最高を記録。日系航空会社との共同キャンペーンにおいて、比較的低廉な航空券が販売されたことなどが訪日意欲を喚起し、堅調に推移した。